

令和6年度 河口湖南中学校 学校経営方針

令和6年度 山梨県 学校教育指導指針

基本理念「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり（山梨県教育振興基本計画）」

- 確かな学力の育成** ⇒ ①授業の改善 ②教育課程の評価・改善
- 豊かな心の育成** ⇒ ①人権教育・道徳教育の推進 ②いじめ・不登校への対応
- 健やかな体の育成** ⇒ ①体力の向上 ②健康教育の充実 ③安全教育の推進
- 地域や社会で活躍できる人材の育成** ⇒ ①伝統や文化等に関する教育の推進 ②外国語教育の充実 ③キャリア教育・職業教育の推進
- 特別支援教育の推進** ⇒ ①教師の専門性の向上 ②教育内容・教育環境の充実

令和6年度 河口湖南中学校学校教育目標 及び めざす生徒像

『心身ともにたくましく、創造性に富む情操豊かな生徒の育成』

経営目標 知恵と心と体力のバランスのとれた生徒の育成を目指す学校

めざす生徒像 知性と創造力・ゆたかな心・たくましい体・主体性をもった生徒

めざす集団生活の行動規範 正義（善悪、他者意識）
ルール（決まりの遵守） マナー（行動への美意識）

めざす資質・能力

主体性・協働性
気づく力・思考力・判断力・表現力
自己理解・自己統制力・他者理解
独立心・明朗快活・創造性・しなやかさ

山梨県がめざす学校教育

「主体的に学び、他者と協働し、豊かな未来を拓く やまなしの人づくり」

1. CS の導入
2. インクルーシブ教育の推進
3. 地域クラブ活動への移行
4. 教育 DX の推進

めざす学校像

楽しい学校 確かな学校 豊かな学校

【生徒にとって行きたい学校】

・安心できる場所 ・信頼できる教師 ・よりよい友だち関係 ・一人一人に充実感・達成感・存在感のある集団 ・わかる授業

【保護者・地域にとって行かせたい学校】

・気軽に相談できる体制 ・適切な生活指導 ・学力の保障 ・いじめ不登校への対応 ・特別支援教育の充実 ・情報提供と情報発信
・地域と学校がよりよい連携をする学校 ・社会に開かれた学校

【教職員がやりがいを感じる学校】

・協働指導体制の推進（OJT 体制の充実） ・謙虚・誠実・真摯に指導、対応する教師集団 ・自らの資質・能力の向上を求め続ける教師集団
・持続可能な働き方改革を推進する学校

主な取組		『心身ともにたくましく、創造性に富む情操豊かな生徒の育成』	
知（確かな学力の育成）	徳（豊かな心の育成）	体（健やかな体の育成）	
<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供主体の授業への授業観への転換（自ら学習課題や学習活動を選択する機会）と自主、自発的な学習が促される授業づくり（個別最適な学びと協働的な学び、「主体的・対話的で深い学び」の実現） ・各教科の特質に応じた言語活動の充実 ・ICT を日常的・効果的に活用した授業実践（一人一台端末） ・指導と評価の一体化を図り、児童の学習改善、教師の授業改善につなげる ・年間を通じた校内研究・校内研修の実施 <p>【学習習慣の獲得・学びへの意欲向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い学び・確かな学力の向上「やまなしスタンダード」 ・家庭学習の充実（予習・復習、アットホームデイ） ・読書習慣の確立（晴耕雨読、読書活動） <p>【教育課程の評価・改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育9年間を見通した教育課程と小中連携による効果的な指導の実現と研究（出前授業、合同研究、五校連絡会議） ・障害や特性に応じた個別の指導計画に基づく学習と評価 	<p>【人権教育・道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通して自他の大切さを育てる人権教育の推進（福祉・SDGs・芸術・公共性） ・道徳の全体計画に基づき、教育活動全体を通して道徳教育の推進（道徳の授業公開） <p>【いじめ・不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりの研修と発達支持的生徒指導の充実（生徒指導事例学習会実施） ・ケース会議の充実と SC、SSW、関係機関等の連携・協働し組織的な支援体制の構築 ・「SOS の出し方に関する教育」「自殺予防教育」の完全実施 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応、定期的に「学校いじめ防止基本方針」の見直しと「チーム学校」として複数対応・迅速対応 ・ネット上の人権侵害抑止のため、情報モラル教育の推進（情報モラル学習） ・不登校生徒の様子把握と各機関との連携 ・貧困ヤングケアラーの早期発見・外部連携 	<p>【体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前の運動状況に近づけるため、体育授業における運動強度や運動内容の工夫（体育の充実、部活動） ・運動の習慣、朝食摂取、十分な睡眠、望ましい生活習慣の定着をととした体力の向上（部活動、スポーツテスト、学園祭、保健指導等） <p>【健康教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する指導と各教科、特活、総合等と相互に関連させた実践 ・身近な保健指導の充実（がん教育・薬物乱用防止教室・アレルギー・感染症予防・体の変化等） ・食に関する課題に応じた目標の設定と課題解決に向けた食育の充実（バランスの良い食事・給食試食会等） <p>【安全教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全教育・安全管理の徹底・学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し改善（防災教育） ・自分の身は自分で守る能力を育成する交通事故、防災教育の充実（安全教育教材等を活用した実践） ・中学校区を意識した広域引渡訓練等を実施に向けた取り組みの推進 	
<p>地域や世界で活躍できる人材の育成</p> <p>【伝統や文化等に関する教育の推進】 ・地域を学びの場とした学習活動 ・地域の特色を生かした富士山学習や郷土学習</p> <p>【外国語教育の充実】 ・4 技能5 領域の言語活動の着実な実施とコミュニケーション能力の育成・パフォーマンス評価の計画的実施と総括的評価の充実</p> <p>【キャリア教育・職業教育の推進】 ・キャリアパスポートの確実な活用と適切な職場体験活動</p>		<p>特別支援教育の推進</p> <p>【教師の専門性の向上】 ・外部機関との連携と個々のニーズに応じた教育 ・特別支援教育に関する専門性の向上のための研修会の実施</p> <p>【教育内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画の作成活用、支援内容の検討・評価及び校内委員会の適切な実施 ・すべての教職員が特別支援教育を標準装備に、必要な合理的配慮を提供 ・障害（者）理解教育の機会の設定と多様性を認め合える集団作り 	
<p>学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係の形成 ・「ほめて、認めて、励ます」教育の徹底（河教研究の継承） ・指導力の向上（授業力、教師の話法、授業観察、人事評価） ・生徒が、所属感、自己肯定感、自己有用感をもつことができる活動の充実 			

5つの指導重点を支えるもの
意図的・計画的・継続的な校内研修 OJT

